



## ハントグループのアクセス

---

- [ハントグループの概要 \(1 ページ\)](#)
- [ハントグループの前提条件 \(2 ページ\)](#)
- [ハントグループの設定タスクフロー \(2 ページ\)](#)
- [ハントグループの連携動作 \(8 ページ\)](#)
- [ハントグループの制限 \(9 ページ\)](#)

## ハントグループの概要

ハントグループは階層的に編成された回線のグループで、ハントグループリストの最初の番号が話中の場合は2番目の番号にダイヤルされます。2番目の番号が話中の場合は次の番号がダイヤルされるという具合に続きます。

電話ユーザは、ハントグループへのログインまたはハントグループからのログアウトに IP フォンの [ハント (Hlog)] ソフトキーまたは [ハントグループ (Hunt Group)] 回線ボタンを使用します。電話にはログイン状態が視覚的に表示されるので、ユーザは各自が1つ以上の回線グループにログインしているかどうかを確認できます。

ハントグループ機能には次の機能があります。

- ユーザは IP フォンの [ハント (Hlog)] ソフトキーを使用して電話へのログインと電話からのログアウトを切り替えます。
- ハントグループにより、発信者が内線番号グループから使用可能な回線を自動的に検出できます。
- ハントグループ ログオフ機能により、電話ユーザは、電話番号にルーティングされた着信コールを電話機で受信しないように設定できます。電話に関連付けられている1つ以上の回線グループへのコール以外の着信コールの場合、電話のステータスに関係なく電話の呼び出し音が鳴ります。



---

(注) 電話番号 (DN) は、電話に関連付けられている回線グループに属します。

---

- システム管理者は、ハン ト グル ー プ に 自 動 で ロ グ イ ン し た 電 話 へ の ユ ー ザ の ロ グ イ ン ま た は ロ グ ア ウ ト を 実 行 で き ま す。
- 電 話 ユ ー ザ は [ハン ト (Hlog)] ソ フ ト キ ー を 使 用 し て、 電 話 の 電 話 番 号 が 属 す る す べ て の 回 線 グル ー プ か ら、 そ の 電 話 を ロ グ ア ウ ト で き ま す。
- Cisco Unified Communications Manager リ リ ー ス 9.0 以 降 で は、 ハン ト グル ー プ ロ グ オ フ 機 能 に よ り、 モ バ イ ル デ バ イ ス を デ ス ク フ ォ ン と し て 使 用 で き る よ う に な り ま し た。 モ バ イ ル ク ラ イ ア ン ト か ら [ハン ト (Hlog)] ソ フ ト キ ー を 使 用 す る 場 合、 ハン ト パ イ ロ ッ ト に 対 し て 発 信 さ れ た コ ー ル を 受 信 し ま せ ン。

## ハン ト グル ー プ の 前 提 条 件

- 電 話 機 は Skinny Client Control Protocol (SCCP) ま た は Session Initiation Protocol (SIP) を 実 行 中 で あ る 必 要 が あ り ま す。
- 電 話 機 の 呼 出 音 ファ イ ル は TFTP デ ィ レ ク ト リ (/usr/local/cm/tftp) に 存 在 す る 必 要 が あ り ま す。

## ハン ト グル ー プ の 設 定 タ ス ク フ ロ ー

### 始 め る 前 に

- [ハン ト グル ー プ の 前 提 条 件 \(2 ペ ー ジ\)](#) を 確 認 し て く だ さ い。

### 手 順

	コ マ ン ド ま た は ア ク シ ョ ン	目 的
ス テ ッ プ 1	<a href="#">ハン ト グル ー プ の ソ フ ト キ ー テ ン プ レ ー ト の 設 定 (3 ペ ー ジ)</a>	[ハン ト (HLog)] ソ フ ト キ ー の ソ フ ト キ ー テ ン プ レ ー ト を 設 定 し ま す。
ス テ ッ プ 2	<p><a href="#">共 通 デ バ イ ス 設 定 と ソ フ ト キ ー テ ン プ レ ー ト の 関 連 付 け (4 ペ ー ジ)</a> を 行 う に は、 次 の サ ブ タ ス ク を 実 行 し ま す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <a href="#">共 通 デ バ イ ス 設 定 へ の ソ フ ト キ ー テ ン プ レ ー ト の 追 加 (5 ペ ー ジ)</a></li> <li>• <a href="#">電 話 機 と 共 通 デ バ イ ス 設 定 の 関 連 付 け (6 ペ ー ジ)</a></li> </ul>	こ れ は オ プ シ ョ ン で す。 ソ フ ト キ ー テ ン プ レ ー ト を 電 話 で 使 用 で き る よ う に す る に は、 こ の 手 順 か 次 の 手 順 の い ず れ か を 実 行 す る 必 要 が あ り ま す。 シ ス テ ム が 共 通 デ バ イ ス 設 定 を 使 用 し て 設 定 オ プ シ ョ ン を 電 話 機 に 適 用 す る 場 合 は、 こ の 手 順 に 従 っ て く だ さ い。 こ れ は、 電 話 機 で ソ フ ト キ ー テ ン プ レ ー ト を 使 用 で き る よ う に す る 際 に、 最 も 一 般 的 に 使 用 さ れ て い る 方 法 で す。

	コ マ ン ド ま た は ア ク シ ョ ン	目 的
ス テ ッ プ 3	電 話 機 と ソ フ ト キ ー テ ン プ レ ー ト の 関 連 付 け ( 6 ペ ー ジ )	こ れ は オ プ シ ョ ン で す 。 次 の 手 順 は 、 ソ フ ト キ ー テ ン プ レ ー ト と 共 通 デ バ イ ス 設 定 を 関 連 付 け る た め の 代 替 手 段 と し て 、 ま た は 共 通 デ バ イ ス 設 定 と 共 に 使 用 し ま す 。 ソ フ ト キ ー テ ン プ レ ー ト を 適 用 し て 、 共 通 デ バ イ ス 設 定 で の 割 り 当 て や 、 他 の デ フ ォ ル ト の ソ フ ト キ ー の 割 り 当 て を 上 書 き す る 必 要 が あ る 場 合 は 、 次 の 手 順 を 共 通 デ バ イ ス 設 定 と 共 に 使 用 し ま す 。
ス テ ッ プ 4	電 話 で の ハ ン ト グ ル ー プ 対 応 設 定 ( 7 ペ ー ジ )	ハ ン ト グ ル ー プ お よ び ハ ン ト リ ス ト の ロ グ イ ン お よ び ロ グ ア ウ ト が 自 動 的 に 行 わ れ る よ う に 電 話 を 設 定 し ま す 。

## ハン ト グル ー プ の ソ フ ト キ ー テ ン プ レ ー ト の 設 定

[HLog] ソフトキーは電話が次のコール状態のときに電話に表示されます。

- 接続されている状態
- オンフック (On Hook)
- オフフック (Off Hook)



(注) [HLog] ソフトキーを設定するには新しいソフトキーテンプレートを作成する必要があります。標準ソフトキーテンプレートに [HLog] ソフトキーを設定することはできません。

以下の手順を使用して、[HLog] ソフトキーを使用できるようにします。

### 手 順

- ス テ ッ プ 1 [Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified CM Administration)] から選択します。 [デバイス (Device)] > [デバイスの設定 (Device Settings)] > [ソフトキーテンプレート (Softkey Template)]。
- ス テ ッ プ 2 新しいソフトキーテンプレートを作成するには、以下のステップを実行します。それ以外の場合は次のステップに進みます。
- a) [新規追加 (Add New)] をクリックします。
  - b) デフォルトのテンプレートを選択して、[コピー (Copy)] をクリックします。
  - c) [ソフトキーテンプレート名 (Softkey Template Name)] フィールドに、テンプレートの新しい名前を入力します。

d) [保存 (Save)] をクリックします。

**ステップ 3** 既存のテンプレートにソフトキーを追加するには、以下のステップを実行します。

- a) [検索 (Find)] をクリックして、検索条件を入力します。
- b) 必要な既存のテンプレートを選択します。

**ステップ 4** [デフォルトソフトキーテンプレート (Default Softkey Template)] チェックボックスをオンにし、このソフトキーテンプレートをデフォルトのソフトキーテンプレートとして指定します。

(注) あるソフトキーテンプレートをデフォルトのソフトキーテンプレートとして指定した場合、先にデフォルトの指定を解除してからでないと、そのテンプレートは削除することができません。

**ステップ 5** 右上隅にある [関連リンク (Related Links)] ドロップダウンリストから [ソフトキーレイアウトの設定 (Configure Softkey Layout)] を選択し、[移動 (Go)] をクリックします。

**ステップ 6** [設定するコール状態の選択 (Select a Call State to Configure)] ドロップダウンリストから、ソフトキーに表示するコール状態を選択します。

**ステップ 7** [選択されていないソフトキー (Unselected Softkeys)] リストから追加するソフトキーを選択し、右矢印をクリックして [選択されたソフトキー (Selected Softkeys)] リストにそのソフトキーを移動します。新しいソフトキーの位置を変更するには、上矢印と下矢印を使用します。

**ステップ 8** 追加のコール状態のソフトキーを表示するには、上記のステップを繰り返します。

**ステップ 9** [保存 (Save)] をクリックします。

**ステップ 10** 次のいずれかの作業を実行します。

- すでにデバイスに関連付けられているテンプレートを変更した場合は、[設定の適用 (Apply Config)] をクリックしてデバイスを再起動します。
- 新しいソフトキーテンプレートを作成した場合は、そのテンプレートをデバイスに関連付けた後にデバイスを再起動します。詳細については、「共通デバイス設定へのソフトキーテンプレートの追加」および「電話機とソフトキーテンプレートの関連付け」のセクションを参照してください。

#### 次のタスク

次のいずれかの手順を実行します。

- [共通デバイス設定へのソフトキーテンプレートの追加 \(5 ページ\)](#)
- [電話機とソフトキーテンプレートの関連付け \(6 ページ\)](#)

## 共通デバイス設定とソフトキーテンプレートの関連付け

これはオプションです。ソフトキーテンプレートを電話機に関連付ける方法は2つあります。

- ソフトキーテンプレートを電話機設定に追加します。

- ソフトキー テンプレート を 共 通 デ バ イ ス 設 定 に 追 加 し ま す 。

こ こ に 示 す 手 順 で は 、 ソ フ ト キ ー テ ン プ レ ー ト を 共 通 デ バ イ ス 設 定 に 関 連 付 け る 方 法 に つ い て 説 明 し ま す 。 シ ス テ ム が 共 通 デ バ イ ス 設 定 を 使 用 し て 設 定 オ プ シ ョ ン を 電 話 機 に 適 用 す る 場 合 は 、 こ の 手 順 に 従 っ て く だ さ い 。 こ れ は 、 電 話 機 で ソ フ ト キ ー テ ン プ レ ー ト を 使 用 で き る よ う に す る 際 に 、 最 も 一 般 的 に 使 用 さ れ て い る 方 法 で す 。

別 の 方 法 を 使 用 す る に は 、 [電 話 機 と ソ フ ト キ ー テ ン プ レ ー ト の 関 連 付 け \( 6 ペ ー ジ \)](#) を 参 照 し て く だ さ い 。

始 め る 前 に

[ハン ト グル ー プ の ソ フ ト キ ー テ ン プ レ ー ト の 設 定 \( 3 ペ ー ジ \)](#)

手 順

	コ マ ン ド ま た は ア ク シ ョ ン	目 的
ス テ ッ プ 1	<a href="#">共 通 デ バ イ ス 設 定 へ の ソ フ ト キ ー テ ン プ レ ー ト の 追 加 ( 5 ペ ー ジ )</a>	
ス テ ッ プ 2	<a href="#">電 話 機 と 共 通 デ バ イ ス 設 定 の 関 連 付 け ( 6 ペ ー ジ )</a>	

## 共 通 デ バ イ ス 設 定 へ の ソ フ ト キ ー テ ン プ レ ー ト の 追 加

手 順

- ス テ ッ プ 1** [Cisco Unified CM の 管 理 (Cisco Unified CM Administration) ] か ら 選 択 し ま す 。 [デ バ イ ス (Device) ] > [デ バ イ ス の 設 定 (Device Settings) ] > [共 通 デ バ イ ス 設 定 (Common Device Configuration) ] 。
- ス テ ッ プ 2** 新 し い 共 通 デ バ イ ス 設 定 を 作 成 し 、 そ れ に ソ フ ト キ ー テ ン プ レ ー ト を 関 連 付 け る に は 、 以 下 の 手 順 を 実 行 し ま す 。 そ れ 以 外 の 場 合 は 、 次 の ス テ ッ プ に 進 み ま す 。
- [Add New] を ク リ ッ ク し ま す 。
  - [名 前 (Name) ] フ ィ ー ル ド に 、 共 通 デ バ イ ス 設 定 の 名 前 を 入 力 し ま す 。
  - [保 存 (Save) ] を ク リ ッ ク し ま す 。
- ス テ ッ プ 3** 既 存 の 共 通 デ バ イ ス 設 定 に ソ フ ト キ ー テ ン プ レ ー ト を 追 加 す る に は 、 以 下 の 手 順 を 実 行 し ま す 。
- [検 索 (Find) ] を ク リ ッ ク し て 、 検 索 条 件 を 入 力 し ま す 。
  - 既 存 の 共 通 デ バ イ ス 設 定 を ク リ ッ ク し ま す 。
- ス テ ッ プ 4** [ソ フ ト キ ー テ ン プ レ ー ト (Softkey Template) ] ド ロ ッ プ ダ ウ ン リ ス ト で 、 使 用 可 能 に す る ソ フ ト キ ー が 含 ま れ て い る ソ フ ト キ ー テ ン プ レ ー ト を 選 択 し ま す 。
- ス テ ッ プ 5** [保 存 (Save) ] を ク リ ッ ク し ま す 。
- ス テ ッ プ 6** 次 の い ず れ か の 作 業 を 実 行 し ま す 。

- すでにデバイスに関連付けられている共通デバイス設定を変更した場合は、**[設定の適用 (Apply Config)]** をクリックしてデバイスを再起動します。
- 新しい共通デバイス設定を作成してその設定をデバイスに関連付けた後に、デバイスを再起動します。

---

## 電話機と共通デバイス設定の関連付け

始める前に

[共通デバイス設定へのソフトキー テンプレートの追加 \(5 ページ\)](#)

手順

- 
- ステップ 1** [Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified CM Administration)] から選択します。[デバイス (Device)] > [電話 (Phone)]。
  - ステップ 2** [検索 (Find)] をクリックして、ソフトキー テンプレートを追加する電話デバイスを選択します。
  - ステップ 3** [共通デバイス設定 (Common Device Configuration)] ドロップダウン リストから、新しいソフトキー テンプレートが含まれている共通デバイス設定を選択します。
  - ステップ 4** [保存 (Save)] をクリックします。
  - ステップ 5** [リセット (Reset)] をクリックして、電話機の設定を更新します。
- 

## 電話機とソフトキー テンプレートの関連付け

この手順は任意です。この手順を代わりに使用して、ソフトキーテンプレートを共通デバイス設定と関連付けることができます。また、この手順は共通デバイス設定とも連動しています。ソフトキーテンプレートを適用して、共通デバイス設定での割り当てや、他のデフォルトのソフトキーの割り当てを上書きする必要がある場合に使用します。

始める前に

[ハントグループのソフトキー テンプレートの設定 \(3 ページ\)](#)

手順

- 
- ステップ 1** [Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified CM Administration)] から、[デバイス (Device)] > [電話 (Phone)] を選択します。  
[電話の検索と一覧表示 (Find and List Phones)] ウィンドウが表示されます。
  - ステップ 2** ソフトキー テンプレートを追加する電話機を選択します。

[電話の設定 (Phone Configuration)] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 3** [ソフトキー テンプレート (Softkey Template)] ドロップダウン リストから、新しいソフトキーが含まれているテンプレートを選択します。

**ステップ 4** [保存 (Save)] をクリックします。

電話の設定を更新するには [ (Reset) ] を押すというメッセージ付きのダイアログ ボックスが表示されます。

---

## 電話でのハン ト グループ 対応 設定

ハン ト グループ とハン ト リスト に自動でログインまたはログアウトするよう電話を設定するには、この手順を使用します。

### 始める前に

電話の電話番号が 1 つ以上のハン ト グループ に属することを確認します。

ハン ト グループ およびハン ト リスト に関しては、『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』を参照してください。

### 手順

---

**ステップ 1** [Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified CM Administration)] から選択します。 [デバイス (Device)] > [電話 (Phone)]。

**ステップ 2** 次のいずれかの作業を実行します。

- 既存の電話機についてのフィールドを変更するには、検索条件を入力し、検索結果の一覧から電話機を選択します。 [電話の設定 (Phone Configuration)] ウィンドウが表示されます。
- 新しい電話機を追加するには、 [新規追加 (Add New)] をクリックします。

[新規電話を追加 (Add a New Phone)] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 3** [電話の設定 (Phone Configuration)] ウィンドウで、次のタスクのいずれかを実行します。

- ハン ト グループ から電話をログアウトさせるには、 [ハン ト グループ にログインする (Logged Into Hunt Group)] チェック ボックスをオフにします。
- ハン ト グループ に電話をログインさせるには、 [ハン ト グループ にログインする (Logged Into Hunt Group)] チェック ボックスをオンにします。

(注) すべての電話ではデフォルトで [ハン ト グループ にログイン (Logged Into Hunt Group)] チェックボックスがオンになっています。

**ステップ 4** [保存 (Save)] をクリックします。

---

## ハントグループのサービスパラメータの設定

[**ハントグループ ログオフ通知 (Hunt Group Logoff Notification)**] サービスパラメータは、回線グループへの着信コールが電話に到達したものの、その電話がログアウトしている場合に、着信音をオンまたはオフにするオプションを提供します。この着信音は、ログアウト中のユーザに、自分の回線がメンバーになっているハントリストに着信コールがあることを知らせますが、回線グループのメンバーの電話は、ログアウトしているため、呼出音が鳴りません。

[**ハントグループ ログオフ通知 (Hunt Group Logoff Notification)**] サービスパラメータを設定するには、次の手順を実行します。

### 手順

- ステップ 1 [Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified CM Administration)] から、[システム (System)] > [サービスパラメータ (Service Parameters)] の順に選択します。
- ステップ 2 [サーバ (Server)] ドロップダウンリストで、Cisco CallManager サービスを実行しているサーバを選択します。
- ステップ 3 [サービス (Service)] ドロップダウンリストから、[Cisco CallManager] を選択します。  
[サービスパラメータ設定 (Service Parameter Configuration)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 4 [クラスタ全体のパラメータ (Clusterwide Parameters)] ([デバイス - 電話 (Device - Phone)]) セクションで、次の [ハントグループ ログオフ通知 (Hunt Group Logoff Notification)] サービスパラメータの値を設定します。  
回線グループ (ハントグループ) のメンバーがログアウト中の場合に、Cisco IP 電話が再生する着信音ファイルの名前を入力します。このサービスパラメータのデフォルト値は [なし (None)] で、これは着信音がないことを意味します。255 文字まで入力できます。
- ステップ 5 [保存 (Save)] をクリックします。  
ウィンドウが更新され、Cisco Unified Communications Manager は、変更内容でサービスパラメータを更新します。

## ハントグループの連携動作

機能	データのやり取り
非共有回線電話番号	電話機が回線グループからログアウトして、その電話機の内線番号が共有されていない場合は、その回線グループ内のその電話番号 (DN) で呼出音が鳴りません。主に回線グループが DN へのコールを提供している場合は、コール処理でその DN がスキップされ、その DN が回線グループに属していないかのように処理されます。



機能	データのやり取り
共有回線電話番号	<p>ハン ト グル ー プ から の ログ ア ウ ト 機 能 は デ バ イ ス ベ ー ス で あ る た め 、 ユ ー ザ が 電 話 機 か ら ログ ア ウ ト す る と 、 そ の 機 能 は ログ ア ウ ト さ れ た 電 話 機 に の み 影 響 を 与 え ま す 。 共 有 回 線 電 話 番 号 を 含 む 回 線 グル ー プ へ の コ ー ル は 次 の よ う に 動 作 し ま す 。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• DN を 共 有 し て い る す べ て の 電 話 機 が ログ ア ウ ト さ れ た 場 合 は 、 そ の DN で 呼 出 音 が 鳴 り ま せ ン 。</li> <li>• DN を 共 有 し て い る 1 つ 以 上 の 電 話 機 が ログ ア ウ ト さ れ た 場 合 は 、 そ の DN で 呼 出 音 が 鳴 り ま す 。</li> <li>• ログ ア ウ ト さ れ た 電 話 機 の 可 聴 呼 出 音 は 、 デ フ ォ ル ト で オ フ に な っ て い ま す 。 Cisco Unified Communications Manager は 、 コ ー ル が ログ ア ウ ト し た ハン ト グル ー プ メンバ ー に 到 達 し た と き に 別 の 呼 出 音 が 鳴 る よ う に 設 定 可 能 な シ ス テ ム パ ラ メ ー タ を 提 供 し て い ま す 。</li> </ul>

## ハン ト グル ー プ の 制 限

制約事項	説明
複数の回線グループ	<p>ユ ー ザ が [ハン ト (HLog) ] ソ フ ト キ ー を 押 し て ハン ト グル ー プ の ログ オ フ 機 能 を 有 効 に す る と 、 電 話 は 関 連 付 け ら れ た す べ て の 回 線 グル ー プ から ログ ア ウ ト し ま す 。 こ れ は ハン ト グル ー プ の ログ オ フ が デ バ イ ス ベ ー ス の 機 能 で あ る た め で す 。 電 話 に 複 数 の グル ー プ に 属 す る DN が あ る 場 合 に [ハン ト (HLog) ] ソ フ ト キ ー を 押 す と 、 電 話 は 関 連 付 け ら れ た す べ て の 回 線 グル ー プ から ログ ア ウ ト し ま す 。</p>

制約事項	説明
<p>7940、7960、およびサードパーティ SIP 電話機</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• SIP を実行している電話（7906、7911、7941、7961、）がハン ト グル ー プ に ログイン して いて [不在転送（Call Forward All）] がアクティブになっている場合、コールは SIP を実行している電話に表示されます。</li> <li>• SIP を実行している 7940 と 7960 電話がハン ト グル ー プ に ログイン して いて [不在転送（Call Forward All）] がアクティブになっている場合、その電話はスキップされて回線グループの次の電話が鳴ります。</li> <li>• SIP を実行している 7940 と 7960 電話および SIP を実行しているサードパーティの電話は、[電話の設定（Phone Configuration）] ウィンドウを使用してハン ト グル ー プ に ログイン または ログアウトできますが、ソフトキーのサポートはありません。</li> <li>• SIP を実行している 7940 と 7960 電話および SIP を実行しているサードパーティの電話のステータス行に [ハン ト グル ー プ の ログアウト（Logged out of hunt groups）] 「」 は表示されません。</li> <li>• SIP を実行している 7940 と 7960 電話および SIP を実行しているサードパーティの電話は、電話でトーンが設定されているかどうかに関係なく [ハン ト グル ー プ の ログ オフ の 通 知（Hunt Group Logoff Notification）] トーンは再生されません。</li> </ul>